

突然の災害に日頃からできる備えを!

あたりまえに出ていた水道水が・・・突然出ない!!

日本は、この30年の間に震度7の大地震を5回も経験しました。

吹田市では昨年、最大震度6弱の揺れを観測した大阪府北部地震に見舞われました。一部の地域で漏水や濁り水が発生したため、市内12か所で応急給水活動を実施し、延べ3,128人の方が利用されました。



平成の大地震

阪神淡路大震災(平成7年)、新潟県中越地震(平成16年)、東日本大震災(平成23年)、熊本地震(平成28年)、北海道胆振東部地震(平成30年)

今後、いつ起こるかわからない大災害を想定して、ご家庭でできる災害対策をお願いします!

近くの給水拠点を知っておこう!



Q: もしも災害で断水になった場合、どうしたらいいの?

A: 市内のどこからでもおよそ2km圏内に災害時給水拠点が有り、そこで応急給水を行うよ。状況によっては、給水車での給水活動や臨時給水所を開設するよ。

Q: 吹田市水道部では、どんな災害対策を行っているの?

A: 老朽化した浄水所や配水場の施設更新、管路等の耐震性の強化、防災訓練の実施、非常用資材の備蓄を行っているよ。

Q: 災害に備えてどれくらい水を備蓄しておけばいいの?

A: 1人1日3ℓを3日以上備蓄するようにお願いしているよ。

Q: 給水袋の水の保存期間について教えて?

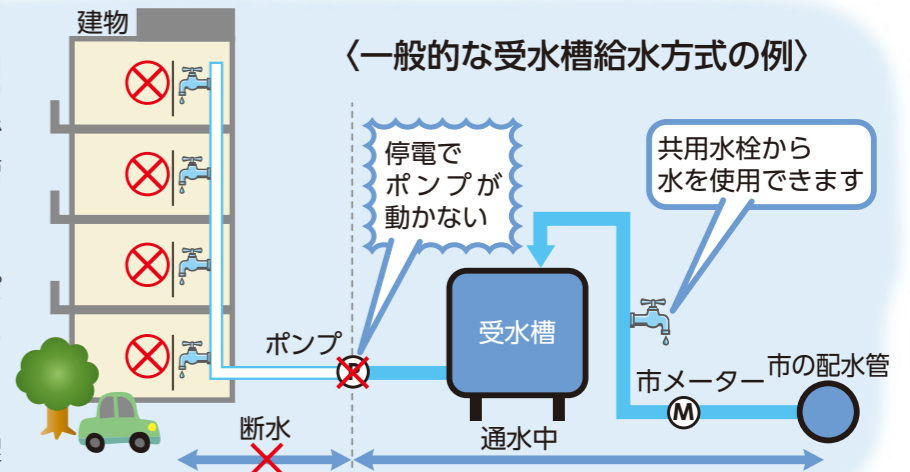
A: 水の保管条件にもよるけど、目安としては2,3日以内に早めに飲んでね。

これまでの災害による応急給水・復旧活動の経験と教訓を活かし、より強固な防災・減災体制を築いてまいります。

災害では停電により水道水が出ないことも!

水道水が通常どおり供給されている場合であっても、災害等により停電が起こると受水槽(貯水槽)があるマンション等では断水することがあります。

断水の原因の一つには、受水槽から水を送るポンプが、停電で動かなくなるためです。このような場合、受水槽の近くに取り付けられている水栓(共用水栓)から、水道を使うことができます。水栓のある場所などを各マンションの管理会社等に確認しておきましょう。



第11次水道事業経営審議会からの答申

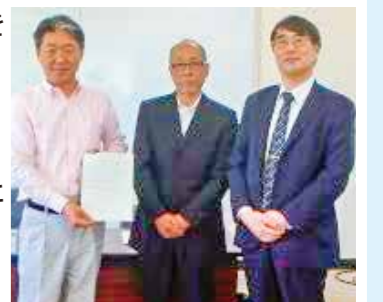
(平成30年5月25日付)

吹田市水道事業の新たな基本計画について

学識経験者や公募の市民などで構成する審議会から答申をいただきました。

答申の主な内容

- 危機管理能力のレベルアップを図ること
- 施設・管路の耐震化を促進すること
- 効率的な事業経営に努めること
- 水道料金と企業債のバランスのとれた財源確保を図ること
- 分かりやすい情報提供に努めること
- フューチャー・デザインに取り組むこと



答申書を受け取る後藤市長(左)と正副会長

- ▷水道部ではこの答申に基づき水道事業の新しい基本計画「(仮称)新すいすいビジョン」を作成しています。
- ▷2020年度から2029年度までの10年間に、どのように事業を進めていくのか、方向性を示す計画です。 ※当初の予定(2019年度~2028年度)を変更しました。
- ▷「安全」「強靱」「持続」を基本方針とした、施策・事業等について検討を進めています。

新すいすいビジョンの基本方針

安全

- 安全な水質の確保 など

強靱

- 危機管理
- 施設の更新・耐震化 など

持続

- 経営効率化
- 環境対策
- 市民参画 など



水道いどばた会議 実施状況

開催回数 21回 参加人数 約450名

- ▷水道いどばた会議は水道部職員が地域に出向き、水道事業の現状や課題を説明するとともに、水道の将来について職員と一緒に考えていただく取組です。これまでに多くの方にご参加いただきました。
- ▷平成31年3月末まで引続き受付けていますので、お申込みをお待ちしております。

水道事業について楽しく学べる



水道いどばた会議の様子

申込み・問合せ先 企画室 TEL 06-6384-1253